

り。

圖木舒克即ち九臺の西方に二個の丘阜脈ありて、南なるは低く且つ長く、北なるは高く且つ短く、總じて之を特庫爾山と稱す。相距る約一千米突、本道は其中間を貫通するが故に自然の關門を成せり。其の西南近距離の地に横はる土巴山と共に、本街道上唯一の高地とす。

聞く漢の代、同山上に城壁を築き、戍兵を置きしと。又英人嘗て此處を發掘し、古器若干を得たりと云ふ。

阿克蘇河は水量甚だ多く、兩岸斷崖を成し、相距ること二千乃至三千米突、流線散漫なるも水勢急なるが故に徒渉すべからず、往時は阿克蘇漢城の南、約二里餘楚克達の邊に架橋ありし爲め、漢城より渾巴什に到る距離は僅に八里餘に過ぎざりしも、其後橋梁流失して以來、渡河の設備を施さざれば、已むを得ず五里有餘の迂路を取らざるべからず。

四、喀什噶爾

土地の狀況

喀什噶爾は東經七十六度十二分、北緯三十九度二十五分、省會に至る五百七十五